

= Match Report =

令和7年度第19回千葉県高等学校総合体育大会サッカー女子の部

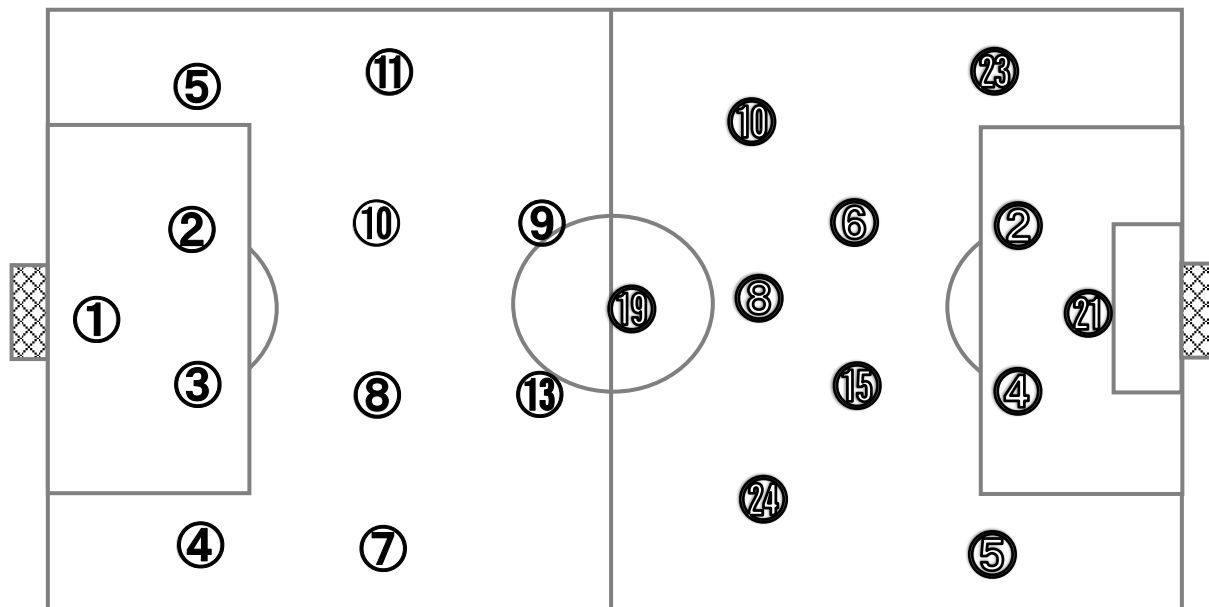
2025年5月10日(土) 10:00 kick off 会場(ゼットエーオリプリスタジアム)

マッチNo.【 21 】

暁星国際 高校(黄) vs 流经大柏 高校(赤)

0 - 0
0 - 0
0 - 0
0 - 0
2 PK 3

基本システム 1 - 4 - 4 - 2 基本システム 1 - 4 - 5 - 1



【Match Report】

奪ったボールをシンプルに縦につけ、2トップを起点にゴールを目指す暁星国際と、丁寧なビルドアップからサイドを起点にチャンスを出ししようとする流经大柏のゲームは、立ち上がりから両チームとも攻守にアグレッシブな展開が続く。徐々に流经大柏がセカンドボールを回収し、ボール支配率を高めてゲームの主導権を握り始める。前線が流動的にポジションを変えながら、DF⑤大林とDF②③小出石が高い位置をとることでサイドで数的優位を作る。対する暁星国際もディフェンスラインのスライド、カバーリングを徹底して守りを固め、MF⑪浅口のスピードを生かしたドリブル突破から反撃を試みる。

後半に入っても流经大柏は選手交代によりフレッシュな選手を投入し、攻め手を緩めない。FW⑩梅森をターゲットに、FW⑩清水を中心としたパスワークでゴールに迫るが、暁星国際GK①高品の絶妙なポジショニングでラストパスを通さない。固い守備からFW⑨伊達のポストプレーでボールを前進させ、鋭いカウンターをみせる。

延長戦になっても両チームとも守備の強度が落ちることがなく、中盤でのボールの奪い合いが続く。ピッチの影響もありパスがずれることに加えて、ディフェンスの寄せが速くボールホルダーに自由を与えない。100分を通じてゴールが生まれず、PK戦での決着となったが、県の決勝に相応しい両チームの守備が光ったゲームであった。流经大柏の関東大会での活躍を期待したい。

記載責任者 所属(千葉県:千葉経済大学附属高等学校) 氏名(小林貴幸)